

1. 内外政

- ・12日、フィラト自由民主党党首は、親欧州の与党連合を形成する交渉は現在袋小路にあり、緊急に共産党と対話を始めるべきである旨発言。
- ・13日、自由民主党、民主党及び共産党各代表は、第一回の議論の後、3党が一定の共通理解に達した旨発表。
- ・13日、移民・難民局は、2014年に仕事のため国外に滞在していたモルドバ国民の数は、90万人であった旨発表。
- ・16日、自由民主党、民主党及び自由党各党代表は、与党連合形成に向けた協議を実施。フィラト自由民主党党首は、同

協議は今後も継続される旨発言。

2. 経済

- ・14日、国家統計局は、2014年1～11月期のモルドバの輸出入に関し、2013年同時期比で、それぞれ2.9%減(22億ドル)、2.5%減(48億ドル)であった旨報告。
- ・14日、中央銀行は、外貨準備高が2014年に23.5%減少(6億6,400万ドル)し、昨年末時点で21億6,000ドルとなった旨報告。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)